



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 宮越 邦正
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 板倉 啓太 TEL 03-3298-7111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	816	△4.5	263	△25.0	510	△13.1	346	△10.8
2024年3月期第3四半期	855	△14.6	350	2.3	587	△1.2	388	21.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 609百万円(△46.5%) 2024年3月期第3四半期 1,138百万円(△21.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	8.66	—
2024年3月期第3四半期	9.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	28,226	27,256	91.0	642.14
2024年3月期	27,709	26,646	90.8	628.68

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 25,694百万円 2024年3月期 25,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	990	△13.0	260	△38.3	540	△29.8	360	△32.8	9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	40,014,943株	2024年3月期	40,014,943株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	960株	2024年3月期	925株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	40,013,996株	2024年3月期3Q	40,014,025株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業拠点である中国深圳市は、グレーターベイエリア（大湾区）の中心都市として海外から注目され、2024年における深圳市のGDPは前年比5.8%の高い伸び率を達成しております。

このような環境下、当社グループは不動産賃貸管理事業の収益基盤の強化に取り組みながら、再開発事業の許認可取得とのバランスを考慮した施策を継続的に実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、営業収益816百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益263百万円（前年同期比25.0%減）、経常利益510百万円（前年同期比13.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益346百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

不動産開発事業について

当社子会社の深圳皇冠(中国)電子有限公司(以下「皇冠電子」)が推進しております「ワールド・イノベーション・センター」(以下「WIC」)は、世界30ヶ国のフォーチュングローバル500企業を始めとした先進の大手外資企業200社超が中国本社機能や本格的なR&D施設若しくはマーケティング拠点を設立し、WICの13省・4直轄市との連携による企業情報プラットフォーム等のビジネスサービスを楽しむことで、事業における新たなイノベーションを創出し、中国はもとより世界に向けて業績を拡大するための大規模なイノベーションプロジェクトです。

WICプロジェクトは、現在先行して進めている01-01区画の「開発実施主体の申請」(2024年5月13日リリース)及び「都市更新ユニット規制修正(草案)の申請」(2024年7月16日リリース)を行うと共に、設計においては世界的に著名な株式会社日建設計に加え、中国10大民間工程設計企業ではトップ5の深圳市華陽国際工程設計株式会社と本格的な設計コンサルティング契約並びに設計契約を締結しております(2024年9月6日及び2024年10月25日リリース)。契約締結後、三者は直ちに設計作業を開始し、緊密に協力しながら、本プロジェクトの各セグメントの設計が着々と進められています。プロジェクトの本格的な実施に伴い、優秀な人材の確保も進み、建設、ビジネスイノベーション、コスト管理、翻訳などの新たなチームが着実に拡充しています。

なお、福田区政府から都市更新ユニット規制に関する承認文書を入手したのちに開発規模の詳細及びスケジュール、収益計画等について順次発表する予定です。収益面では、WICが単なる賃貸案件ではなく、顧客の需要や技術の進歩を踏まえ、急速に発展するテクノロジー時代と社会にふさわしい情報サービス、人材サービス、コンサルタン、BPO等、未来志向の充実した業務支援サービスを開発し、入居企業に有償で提供し、収益化する予定です。

一方では、深圳市政府の委嘱を受けて精力的に行っている企業誘致活動では、日本の上場企業を中心に先進的優良企業がWIC進出の意向を表明し、更に海外では欧米のフォーチュングローバル500企業を中心に大手企業が強い関心を示しており、既に日米欧から100社を超える企業から意向書の提出を頂いており、今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業はさらに増えてまいります。

当社は総合投資会社を標榜しており、同プロジェクトを投資事業の第1号案件と位置付け、環境・社会・ガバナンス(ESG)を重視した顧客との価値共創を通じ、当社グループの持続的発展の基礎となるプロジェクトを目指しております。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は28,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ517百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は970百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。この主な要因は、預り保証金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は27,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ609百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想等に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,003	11,502
営業未収入金	80	107
その他	832	860
貸倒引当金	△24	△26
流動資産合計	11,891	12,443
固定資産		
有形固定資産	261	389
無形固定資産		
のれん	39	9
土地使用権	926	900
その他	0	0
無形固定資産合計	966	910
投資その他の資産		
長期貸付金	13,413	13,571
その他	1,176	911
投資その他の資産合計	14,589	14,482
固定資産合計	15,818	15,783
資産合計	27,709	28,226
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	81	63
引当金	2	3
その他	191	355
流動負債合計	274	421
固定負債		
退職給付に係る負債	8	9
その他	778	539
固定負債合計	787	548
負債合計	1,062	970
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	6,079	6,425
自己株式	△0	△0
株主資本合計	24,258	24,604
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	897	1,089
その他の包括利益累計額合計	897	1,089
非支配株主持分	1,490	1,561
純資産合計	26,646	27,256
負債純資産合計	27,709	28,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業収益	855	816
営業原価	147	163
営業総利益	707	653
販売費及び一般管理費	356	390
営業利益	350	263
営業外収益		
受取利息	211	209
その他	25	37
営業外収益合計	236	246
経常利益	587	510
税金等調整前四半期純利益	587	510
法人税、住民税及び事業税	215	198
法人税等調整額	△57	△68
法人税等合計	158	130
四半期純利益	428	380
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	388	346

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	428	380
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	710	229
その他の包括利益合計	710	229
四半期包括利益	1,138	609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	990	538
非支配株主に係る四半期包括利益	148	70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、不動産開発及び賃貸管理事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	223百万円	236百万円
のれんの償却額	29百万円	29百万円